

みを改善するプロジェクトといった仕事に直結するテーマを選ぶ)

テーマに関して補足すると、たとえば5S活動や不良率改善をミッションとして掲げるなら現場改善プロジェクト、人事担当が参加するなら人事制度構築プロジェクトのような内容です。

プロジェクト活動で重要なのは、会議の進め方、特に会議での活発な議論です。メンバーが発言しやすい環境を整え、司会や議事録担当を持ち回りにする、ディスカッションで否定的な意見をいう際には必ず具体的な案を提示するなどの活動が社員一人ひとりの会社運営への参加意識を高め、自律型組織へと導いてゆきます。

**【ポイント3】制度を整え、社内報告会を開催**

●会社の方向性を示すもの(経営理念や会社の将来、事業計

画など)、経営幹部が主体のプロジェクト活動によってできた決まりごと(社内制度、人事制度、営業マニュアル、工場内規定など)を社内で公表する

公表する方法はメールでもよいですが、年に一度、会社主体で報告会を開くのもおすすめです。

自律型組織をつくるためのポイントをおさえたら、まずは実践してみましょ。この形が定着することで、一人ひとりの仕事に対する姿勢が大きく変化するはず。やる気と少しの時間があれば、業界や業種に関係なく実現可能な自律型組織、一度チャレンジしてみませんか。

(中小企業診断士 西端 望)



西端氏の事務所 HP はコチラから→→

## 行政書士法人 横浜総合行政書士事務所 2024年5月 新たに川崎オフィスを開設！ 行政書士の藤森 純一氏にインタビュー

**Q：川崎オフィス開設のきっかけを教えてください。**

藤森：妻と義兄が継いで経営するプラスチック塗装会社が、このたび事務所を新設することになりました。それに伴い、私自身が講師業(行政書士と並行して、管理職研修やコンプライアンスをテーマにした研修等を行っています)のために借りていた事務所を、そこへ移転することを決意！これを機に、行政書士事務所の支店としての機能も持たせようと思ったことがきっかけです。自宅から徒歩でも行ける場所なので、ワークライフバランスも考えての開設となります。ちなみに、同じ建物には印刷業者も入っており、3社が同居する形です。

**Q：川崎オフィスのあるエリアは、どのような環境ですか？**

藤森：多摩川の河川敷まで徒歩3分ほどの立地で、準工業地域で町工場が多くあるエリアです。佐川急便やヤマト運輸などの物流拠点でもあるためか、働く人の空腹を満たす“昭和感あふれる”定食屋や町中華があります。

**Q：オフィス開設に伴い、これからの展望は？**

藤森：主に、町工場向けの事業展開を考えています。「ピ

ザ申請」「社員研修」のほか、「町工場の連携支援」や、「こんなものをつくりたい！」という方と町工場との橋渡し役としての機能を果たすことが目標です。そして、地域の子どもたちが「あの場所で、何をやっているのだろう？」と興味を持てるような“場”をつくりたいと思っています。また個人向けのサービスとして、介護事業者と連携し「終活事業」の取り組みも進めています。趣味と実益を兼ねて(?) ホビー仲間との模型展示会も企画したいですね。

**Q：最後に、読者の皆さまへ一言お願いします。**

藤森：この街で働き、学び、遊ぶ人たちとのコミュニティで、この街の未来像の実現に向けての業務展開をしてゆこうと考えています。また、こちらの誌面やLTRのホームページでも近況をお伝えしたいと思っていますので、どうぞお楽しみに！(行政書士 藤森 純一)

◆行政書士法人 横浜総合行政書士事務所

川崎オフィス

住所：〒213-0006

川崎市高津区下野毛 3-2-38

TEL：044-281-0081



藤森氏の事務所 HP はコチラから→→